

ID: _____ 患者氏名: _____ さん

	入院当日：手術7日前（月）	手術6日前（火）	手術5日前（水）	手術4日前（木）	手術3日前（金）	手術2日前（土）	手術1日前（日）	手術当日（月）
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
目標 (身体症状)	異常症状の出現がなく過ごすことができる。							
目標 (自己管理)	<ul style="list-style-type: none"> ・食事制限の必要性が理解できる。 ・含嗽の必要性を理解し実施できる。 ・含嗽薬、内服薬の効用、副作用が理解でき、時間通りに服用できる。 ・血圧、脈拍、体温、体重、食事を決められた時間に測定できる。 ・自己管理の必要性が理解できる。 ・日和見感染について理解できる。 							
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・この用紙（術前・術後）を使用し、本日から退院までの経過を説明します。 ・薬剤師からの服薬指導後、含嗽を開始してもらいます。 ・血圧、脈拍、体温、体重、飲水量、食事量、尿量測定について、 		翌日の麻酔科受診に必要な問診票を記入してもらいます。	<ul style="list-style-type: none"> ・集中治療部（ICU）の看護師から説明があります。 ・ドナーの方が入院されたら、主治医より手術説明があります。 ・午後に麻酔科医師の診察があります。 				
治療・処置								必要時点滴をします。浣腸をします。
測定	必要時、血糖測定をします。	10時頃 血圧・脈拍・体温測定をし、7時頃 体重測定をして、値を看護師に教えて下さい。	6時14時20時頃 血圧・脈拍・体温測定をし、7時頃 体重測定をして、値を看護師に教えて下さい。	朝、昼、夕の食事前に血糖値を測定します。			6時頃血糖値を測定します。	
尿	食事は、食事後にお膳ごと秤で測定し、専用紙に重さを記載して下さい。 水分は、計量コップを使用し朝6時～翌朝6時までの水分摂取量を測定し、朝に看護師に教えて下さい。		尿量観察のため、6時から24時間蓄尿していただきます。					
清潔	入浴可能です。						剃毛後（必要時）、入浴します。	
行動	感染予防のため外出・外泊はできません。病棟外に行く時は看護師に声をかけて下さい。				ICUに持参する私物を準備し、全ての私物ひとつひとつに氏名を記載して下さい。ティッシュ、オムツ、コップ、洗面歯磨き道具、ひげそりなど。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICUへの持参する私物の準備はできていますか？ ・泌尿器科病棟に預ける荷物は1～2つにまとめ、明朝、家族に託して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、看護師にICUに持参する私物を渡して下さい。 ・家族に泌尿器科病棟に預ける荷物を託して下さい。後で家族と荷物確認させていただきます。 	
病室	泌尿器科病棟の大部屋です。個室希望の方は教えて下さい。料金・泌尿器科病棟個室の空き状況を確認の上、考慮いたします。							8:40手術室へ行きます。
内服薬 oughai薬	感染予防のoughai（イソジン・ファンギゾン）が開始になります。朝、昼、夕、寝る前。		以下の内服が開始になります。感染予防のためダイフェン（月・木）とヒドラ。胃粘膜保護のためラベプラゾール。		免疫抑制剤の内服が開始になります。セルセプト、プログラフ（又はグラセプター）。	<ul style="list-style-type: none"> ・手術に向け、自己管理薬は日中に看護師に預けて下さい。 ・就寝前に下剤を服用します。 	朝に内服が必要な薬は看護師がお持ちします。	
食事水分	塩分6g/日、グレープフルーツ禁止。その他、病状に合わせ制限が追加されることもあります。水分摂取量の制限の有無については、主治医から指示が出ます。						夕食摂取後は何も食べないで下さい。飲水はできます。	食止めです。水分は麻酔科指示です。
検査・他科受診	検査入院や外来通院で終了していない検査を行ったり、診察・治療の継続が必要な診療科を受診します。				朝、輸血準備のための採血をします		8：50プログラフの血中濃度採血（内服前）	6時プログラフの血中濃度採血（内服前）
その他	不快症状があるとき、不安・不明な点がある際は、医師又は看護師に知らせてください。感染予防のため、小さいお子さんや風邪を引いている方の面会は避けて下さい。							

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

	手術当日（術後）		術後1日目		術後2日目		術後3日目		術後4日目		術後5日目		術後6日目		術後7日目	
	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
目標 (身体症状)	急性拒絶反応の兆候がない・痛みのコントロールができています・異常な出血や腹部膨満感がない						急性拒絶反応の兆候がない・痛みのコントロールができています									
目標 (自己管理)							食事制限の必要性が理解できる		・食事制限の必要性が理解できる ・うがい(4回/日)、手洗い、マスク着用が習慣化する		・食事制限の必要性が理解できる ・うがい(4回/日)・手洗い・マスク着用が習慣化する ・血圧・体温・体重・飲水量・食事を決められた時間に測定できる、 ・うがい薬、内服薬(免疫抑制剤以外)の準備ができ、時間通りに服用できる					
説明 指導	ご家族に医師から手術後の説明をします								薬剤師から、内服薬・うがい薬の自己管理について説明があります							
点滴	点滴は24時間持続して行います。6時頃免疫抑制剤の点滴をします。										必要時、6時頃免疫抑制剤の点滴をします		点滴の管が抜けます			
測定	時間毎に血圧、体温、尿量、血糖値を測定します。体重測定は1日/回行います。						・血圧、体温は朝と昼と夕と寝る前 ・血糖値測定は毎食前 ・体重測定は1日/回行います		・血圧・体温測定は6時・14時・20時頃行います。大部屋へ移動可能となった場合は病棟自動血圧計で自己測定をお願いします。 ・血糖値は毎食前測定します。血糖測定器をお持ちの方は自己測定をお願いします。 ・体重は朝食前に測定します。大部屋へ移動可能となった場合は、病棟体重計で自己測定をお願いします。							
尿 ドレーン	手術後、＜尿道に尿を出すための管＞とくみぎ下腹部に創部の体液を排出するための管＞が入っています。とても大事な管です。抜いたり、引っ張ったりしないように注意しましょう。														尿道の管が抜けます	
清潔	あたたかいタオルでの身体拭きを看護師がお手伝いします						身体拭きをします。また、みぎ下腹部の管が濡れない範囲で下半身のシャワーは可能です。みぎ下腹部の管が抜けた場合は全身シャワー浴ができます。									
行動	ベッドの上で安静です。手術創部を身体の下にしないで下さい。		ベッド上で座ることができます		看護師付き添いで、ベッドの脇に立つ、ポータブルトイレに移動することができます。		看護師付き添いで、病室内を歩行することができます						病棟内を自由に歩行することができます。管類が抜けないように十分注意して下さい。			
病室	手術後は、状態が安定するまで集中治療室に入ります						泌尿器科病棟個室へ移動します		泌尿器科病棟個室に入ります							
内服薬 うがい薬	看護師がその都度お持ちします						自己管理に向けてお手伝いします		免疫抑制剤以外の内服薬・うがい薬をご自分で管理していただきます							
	朝9時のプログラムは、8：50血中濃度採血が終わったら飲んで下さい。															
食事 水分	食止め、飲水不可です。口渇時はうがいをお手伝いします。		医師の許可により飲水、ヨーグルトやゼリーなど軟食摂取可能になります。		医師の許可により食事が出ます。エネルギーコントロール食、塩分6g/日、グレープフルーツ禁止、生物禁止、加熱食。病状により他の制限が追加されることもあります。間食は医師の許可があるまでできません。水分摂取は腎臓の動きを良くするために必要ですので、2000ml/日以上飲めるようにがんばりましょう。汲みたての水道水、または市販のペットボトル(国内産)の水かお茶を飲んで下さい。医師の許可があるまで、水かお茶のみにして下さい。											
検査	採血、レントゲン撮影、超音波検査		6時頃採血、7時頃レントゲン撮影、 8：50プログラムの血中濃度採血、朝と夕に超音波検査						8：50プログラムの血中濃度採血。1回/日超音波検査。							
							日内変動観察のためセルセプト血中濃度採血を3回/日		尿、鼻腔、便の培養検査							
その他	痛み・腹部膨満感・その他不快症状があるときは、看護師に知らせてください。															
	集中治療室在室中のご家族の面会については別紙参照してください						感染予防のため個室管理中の面会は、原則同居している御家族のみで、小さいお子さんや風邪を引いている方はご遠慮いただいております。面会者に会う時はマスクをつけて下さい。									

	術後8日目 月 日	術後9日目 月 日	術後10日目 月 日	術後11日目 月 日	術後12日目 月 日	術後13日目 月 日	術後14日目 月 日	術後15日目 月 日	術後16日目 月 日	術後17日目（退院） 月 日		
目標 (身体症状)	拒絶反応の兆候がない・痛みのコントロールができています											
目標 (自己管理)	<ul style="list-style-type: none"> 食事制限の必要性が理解できる うがい・手洗い・マスク着用が習慣化する 血圧・体温・体重・飲水量・食事量を決められた時間に測定し、習慣化できる。 うがい薬・内服薬(免疫抑制剤以外)の準備ができ、時間通りに服用できる。 自己管理の必要性が言える 薬の必要性・副作用・内服方法が言える 拒絶反応が理解でき、体調の変化に応じた対処方法を述べることができる。 栄養指導を受け、内容を理解できる。 			<ul style="list-style-type: none"> 感染予防行動がとれる、食事制限の必要性が理解できる うがい・手洗い・マスク着用が習慣化する 血圧・体温・体重・飲水量・食事量を決められた時間に測定し、習慣化できる うがい薬・内服薬(免疫抑制剤含む)の準備ができ、時間通りに服用できる 自己管理の必要性が言える 薬の必要性・副作用・内服方法が言える 拒絶反応が理解でき、体調の変化に応じた対処方法を述べることができる 栄養指導を受け、内容を理解できる 								
説明 指導	<ul style="list-style-type: none"> 食事を作ってくれる家族（ご自身で作る場合は、キーパーソン）と一緒に、栄養士から食事指導を受けていただきます。 家族（基本同居者）と一緒に、免疫抑制剤の自己管理について薬剤師から説明を受けていただきます。 ※日程が合わない時は調整しますので相談して下さい。		LIFE LONG5冊、自己管理手帳、この用紙を使用し退院時指導を行います。 <ul style="list-style-type: none"> LIFE LONG5冊は退院迄に読んで、内容にご質問があれば看護師に教えて下さい。 「LIFE LONG①腎移植後の合併症予防、異常時の受診について」と「LIFE LONG②腎移植後の感染症、異常時の受診について」看護師が説明します。 イソジン・ファンギソンうがいは3カ月続けます。 手洗いやマスクの着用は退院後も続けましょう。 職場や学校などへの復帰は医師の指示に従って下さい。基本は次回受診までお休みです。 外来受診時は、原則プログラフは飲まずに持参し来院して下さい。血中濃度採血採取後、飲んで下さい。外来受診時間によっては当てはまらないこともあります。 拒絶反応や感染、その他の合併症を予防するため、内服薬は決められた時間に決められた量を、継続して服用して下さい。 自己管理手帳は、血圧、体温、体重、飲水量の自己測定と記載は継続し、外来受診時に持参し医師・看護師・移植コーディネータに見せて下さい。 									
点滴												
測定	<ul style="list-style-type: none"> 血圧・体温は6時・14時頃、病棟血圧計で測定して下さい。 体重は朝食前に病棟体重計で測定して下さい。 血糖値は毎食前に測定。血糖測定器をお持ちの方は自己測定をお願いします。 			<ul style="list-style-type: none"> 血圧・体温は10時頃、病棟血圧計で測定して下さい。 体重は朝食前に病棟体重計で測定して下さい。 血糖値は毎食前に測定します。血糖測定器をお持ちの方は自己測定をお願いします 								
尿 ドレーン	尿道の管が抜けた後は、専用袋に尿を貯めて下さい。管が抜けた直後は、尿が少量ずつ頻回に出ることが予想されます。											
清潔	身体拭きをします。また、みぎ下腹部の管が濡れない範囲で下半身のシャワーは可能です。 みぎ下腹部の管が抜けた場合は全身シャワー浴ができます。			全身シャワー浴ができます。外泊中、退院後は入浴ができます。								
行動	病棟内を自由に歩行する事ができます。管類が抜けないように十分注意して下さい。			病院内を歩行できます。売店に行けます。		1泊試験外泊	遅くても15時までに帰院して下さい	腎機能が安定し合併症の症状がなく、状態が良ければ退院可能です		退院		
病室												
内服薬 うがい薬	免疫抑制剤以外の内服薬・うがい薬をご自分で管理していただきます			免疫抑制剤も含め、内服薬とうがい薬を自己管理していただきます								
	朝9時のプログラフは、8：50血中濃度採血が終わったら飲んで下さい。											
食事 水分	エネルギーコントロール食、塩分6g/日、グレープフルーツ禁止、生物禁止、加熱食。病状により他の制限が追加されることもあります。間食は医師の許可があるまでできません。水分摂取は腎臓の働きを良くするために必要ですので、2000ml/日 以上飲むようにがんばりましょう。汲みたての水道水、または市販のペットボトル（国内産）の水かお茶を飲んで下さい。医師の許可があるまで、水かお茶のみにして下さい。											
検査	8：50プログラフの血中濃度採血。1回/日超音波検査。							8：50血中濃度とサイトメガロウイルスの採血				
						外泊から帰院後、蓄尿してもらいます	1日間蓄尿してもらった尿の一部を検査します					
その他	痛み・腹部膨満感・その他不快症状があるときは、看護師に知らせてください。									退院後に異常がありましたら、すぐにご連絡ください		